

ハピネス城西 ~あなたが主役~



「アロマで活き活き健康サポート」

「心と身体の健康教室」にぜひご参加を!

毎月1回、第4土曜日に城西ビオスクリニック4階ホールで開催されている催し、皆さんご存知ですか? まだ一度もこのホールにお越しではない方、どなたでも自由に参加できます! 見学がてら、是非気軽にのぞいてみてください。きっと何か発見があると思いますよ。

写真は、5月の外部講師による「アロマで活き活き健康サポート」と7月の当院客野臨床心理士による「ほめる事の大切さ」の時のものです。



「ほめる事の大切さ」

病院機能評価の再受審を終了!



院長 井上和俊



城西病院は、去る平成21年9月10日から12日の3日間、日本医療機能評価機構による病院機能評価の認定更新のためサーベイヤー4名による訪問審査を新バージョンである「6バージョン」で受審しました。5年前の初回審査は、なにぶん急ごしらえの感がぬぐい切れませんでした。しかし、今回の更新において、5年間の成果と実績を振り返ることにより、不十分である内容の整備をはかるには、とても有益であったと考えています。

この5年を振り返ってみますと、平成18年には、精神障害者社会復帰施設「福祉ホームBトウデイ」を新設するとともに、デイケア「ほっとリビング」と訪問看護室「コラージュ」を新築した合同棟に移転し、地域医療を支える基盤を確立することができました。

平成19年には、精神科急性期治療棟1を取得し、敷地内禁煙の実施に成功しました。同年9月には、徳島市中心地にマクロビオティックレストランやデイケア、ホールなどを併設した「城西ビオスクリニック」を開院しました。これにより、精神疾患の早期治療、早期退院、偏見除去などに貢献することができ、病院での平均在院日数も短縮しました。

平成20年には、電子カルテを導入し、ケアカンファレンスなどチーム医療の飛躍的向上を図ることができました。平成21年には、「人生の質研究所」を設立し、精神障害者のみならず人類全体に対する貢献・奉仕を目指して、日頃の臨床経験を集大成する部門を作りました。また、各種集団精神療法(PSミーティング、心理教育、卒酒会)、SSTなどが進化し、もの忘れ外来など専門外来も行っています。毎月の「心と身体の健康教室」や毎年の「公開講座」は継続中であり、地域に根ざした啓発活動を活発に行っています。

私たちは、病院の信念を表現したロマン(理念)とそれを達成・実現するための基本方針を追求するためのさまざまな目標に向かって「継続的な終わることのない改善」をしてきましたが、これらは病院発展にとって大切なことと考えています。「目標達成のため心に留めておくこと」として、我々が大事にしてきたことがいくつかあります。継続した教育研修、チームケアの最重視、業務効率化、得意分野の進化継続などです。中でも、チーム医療を重視した教育研修では、職種を超え、組織をあげて、先進病院への見学研修や日精協精神医学会へチームで参加する研修を重視し、継続してきました。これにより、集団精神療法の進化や電子カルテ化、チーム医療の発展など、たくさんの実を結び、当院独自の研究所の設立など、新たな創造を生もうとしています。

この度、再審による第三者評価を受けてみると、まだまだ質・量とも至らぬところがあり、たくさんの気づきが得られました。今後は、気づきがあったところを職員全員で話し合い、更なる改善を続けていきたいと考えています。

前回は、「一発合格すれば、慰安旅行はハワイ旅行」を合言葉に全員で頑張りましたが、残念ながら果たせずにいました。しかし、今回は、サーベイヤーの皆様から、この5年間の実績を褒めていただいたことにより、一発合格如何は関係なく、役職員全員へのご褒美として、ハワイで人生の質を高めてくることに決めました。アロハ!

相談室・地域連携室スタッフで~す

本年度から地域連携室が新しくできました。入院患者様やそのご家族についての相談援助業務は「相談室」が担当し、「地域連携室」は外来患者様やそのご家族、また地域からの相談を担当することになりました。「相談室」は入院時から退院に至るまでの支援をより重点的に行い、「地域連携室」は地域での生活が少しでも安心して送れるよう支援するというものです。地域からの受診・入院相談、転院相談なども受け付けています。

どちらのスタッフも、勉強を怠らず、院内の他職種とは勿論、外部機関の皆さんとの連携をしっかりと行いたいと思っています。前号でもお知らせした通り、制服も変わり心機一転! これまでと変わらず、気軽に声をかけてくださいね。よろしく願いします。



外来患者様・地域担当(地域連携室)

入院患者様担当(相談室)

回想法「ひまわりの会」

私たちは何かの刺激をきっかけに、昔の思い出がよみがえることがあります。ふと耳にする懐かしい音楽、漂う金木犀の香り、子供の頃に遊んだ風景などから、昔の感情や体験がありありと浮かんでくることはありませんか?

こうした回想は高齢になると特に多くなるといわれています。高齢になり、長い人生を振り返ることは自然な過程といえるでしょう。

「回想法ひまわりの会」では慢性期病棟の患者様を対象に、昔の思い出を語っていただき、スタッフはそっと寄り添いながら、温かい気持ちで話を聴きます。例えば「小さいころの遊び」というテーマでは「おじゃみで遊んでましたね。今も歌えますよ」「メンコとか将棋とか、まあまあ強かったですよ」等、懐かしい話に花が咲き、自然と笑顔が浮かんでいました。

長く生きてこれた患者様の語りには、ハッとさせられることがよくあります。時に苦勞された話やつらかった話も出てきますが、私たちはその想いを尊重し、生きてこれた過程に想いをはせながらお話を聴くことで、その方自身が人生を振り返り、その意味が感じられるようになれたらと思っています。

医療法人睦み会の最も大切にすること

ロマン(理念)
心と身体を癒し続け
人生をより豊かなものとし
今を共に語り合い支え合って生きる

基本方針

- ① ほど良い医療と福祉を提供し、病める人をことさら大切に生きる
- ② 心の病は誰でもなりうる病気であることを忘れない
- ③ 心の病は必ず治ることを信じ、スタッフ全員で取り組む
- ④ 同じロマンをもつスタッフと一丸となって、共に高め合う
- ⑤ 互いに支え合う共生社会を作り上げる